CAMPANOLA

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL

CAN14

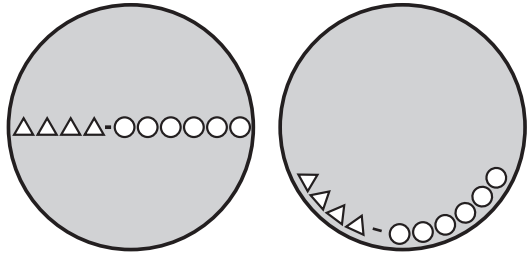
このたびは、カンパノラウオッチをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この取扱説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

シチズンホームページ（http://citizen.jp/）でも操作説明がご覧いただけます。
また、モデルによっては、外装機能（計算尺、タキメーターなど）が搭載されているものもあり、取扱説明書に記載されていない外装機能の操作も同様にご覧いただけます。

機種番号の見かた

時計の裏ぶたに、アルファベットを含む４ケタと６ケタ以上からなる番号が刻印されています。
この番号を「側番号」といいます。
側番号の先頭の４ケタが機種番号になります。図では「△△△△」が機種番号です。

＜刻印の位置の例＞



時計によって表示位置は異なります。

安全にお使いいただくために― 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、
必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

＜保護シールについて＞

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

＜バンド調整について＞

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズン オーナーズデスクにて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

目　次

1. 商品の特長 …… 6
2. りゅうずの操作方法 …… 7
3. 各部の名称 …… 8
4. 時刻、カレンダーの合わせ方 …… 10
5. 時刻、カレンダーを合わせる手順 …… 12
- 曜日合わせ …… 12
- 月齢合わせ …… 12
- 日と月合わせ …… 14
- 時刻合わせ …… 16

6. エコ・ドライブ特有の機能について ……18
- 充電警告機能 …… 20
- 過充電防止機能 …… 21
- クイックスタート …… 21
- 充電時間の目安 …… 22

7. エコ・ドライブ取り扱い上の注意 ……24
8. お取り扱いにあたって ……26
9. 保証とアフターサービスについて ……34
10. 製品仕様 ……36
11. お問い合わせ窓口 ……38

1. 商品の特長

この時計は文字板周囲にソーラーセルを配置し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるエコ・ドライブウオッチです。

その他の特長として
- カレンダーは日を針で表示、月と曜は円板で表示されます。
- 月齢表示（ムーンフェイズ）機能つきです。

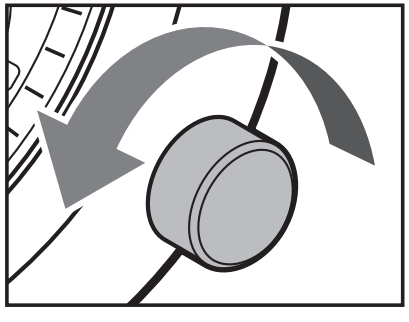
2. りゅうずの操作方法

〈りゅうずについて〉

モデルによって、りゅうずがねじロック式の場合があります。操作しないときにりゅうずをロックすることで、誤操作を防ぐことができます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

※ ねじロック式ではない場合は、ロック／ロック解除をすることなくお使いいただけます。

操作する前に

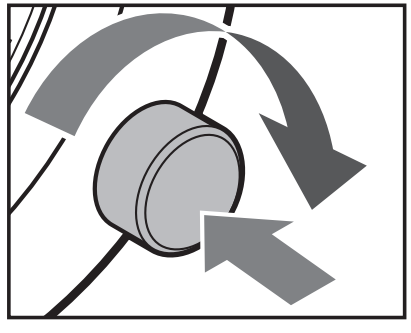


りゅうずのロックを解除する

りゅうずを左にまわす。

ロックが解除されると、りゅうずがせり出し、通常位置になります。

操作後は

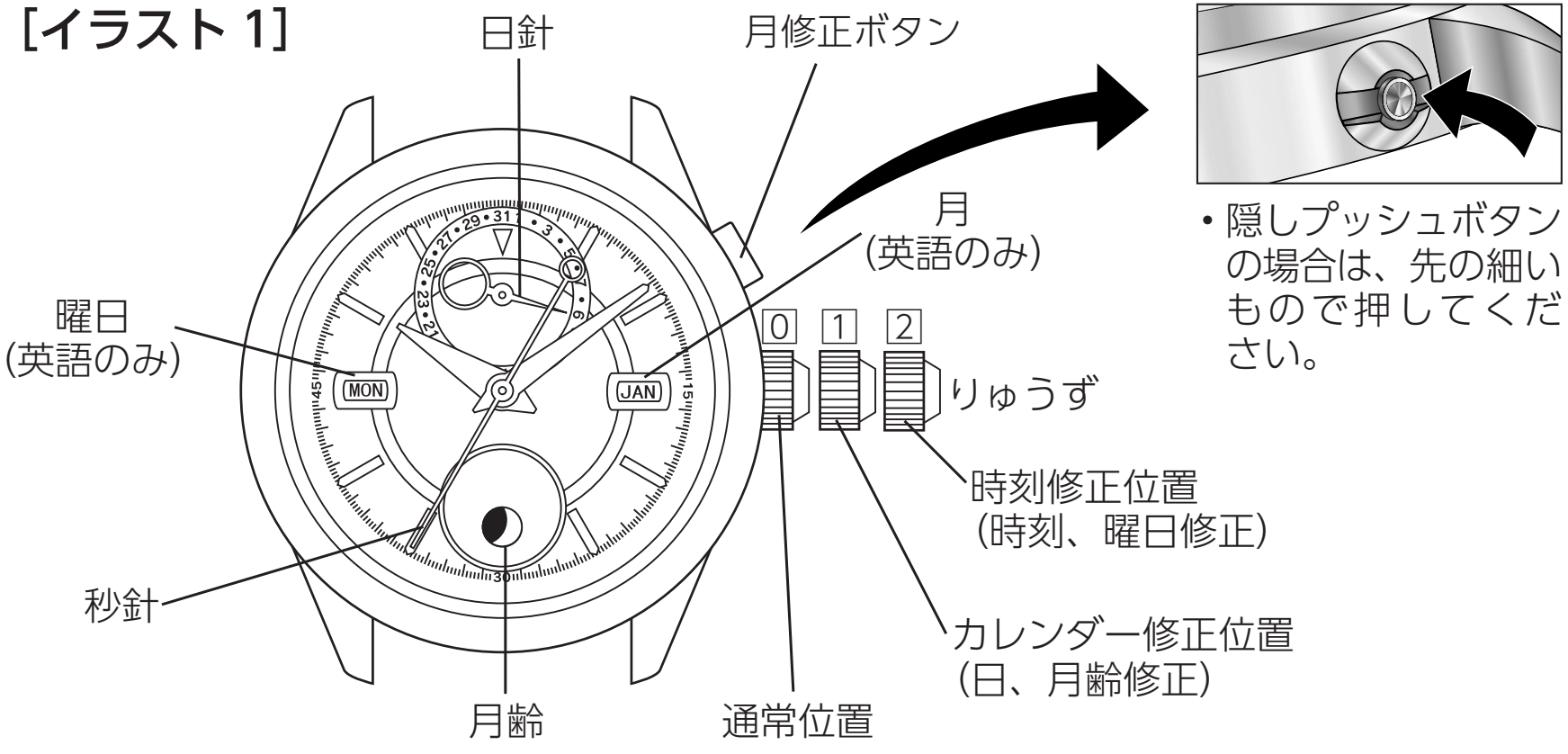


りゅうずをロックする

りゅうずを押し込みながら右にまわして締める。

3. 各部の名称

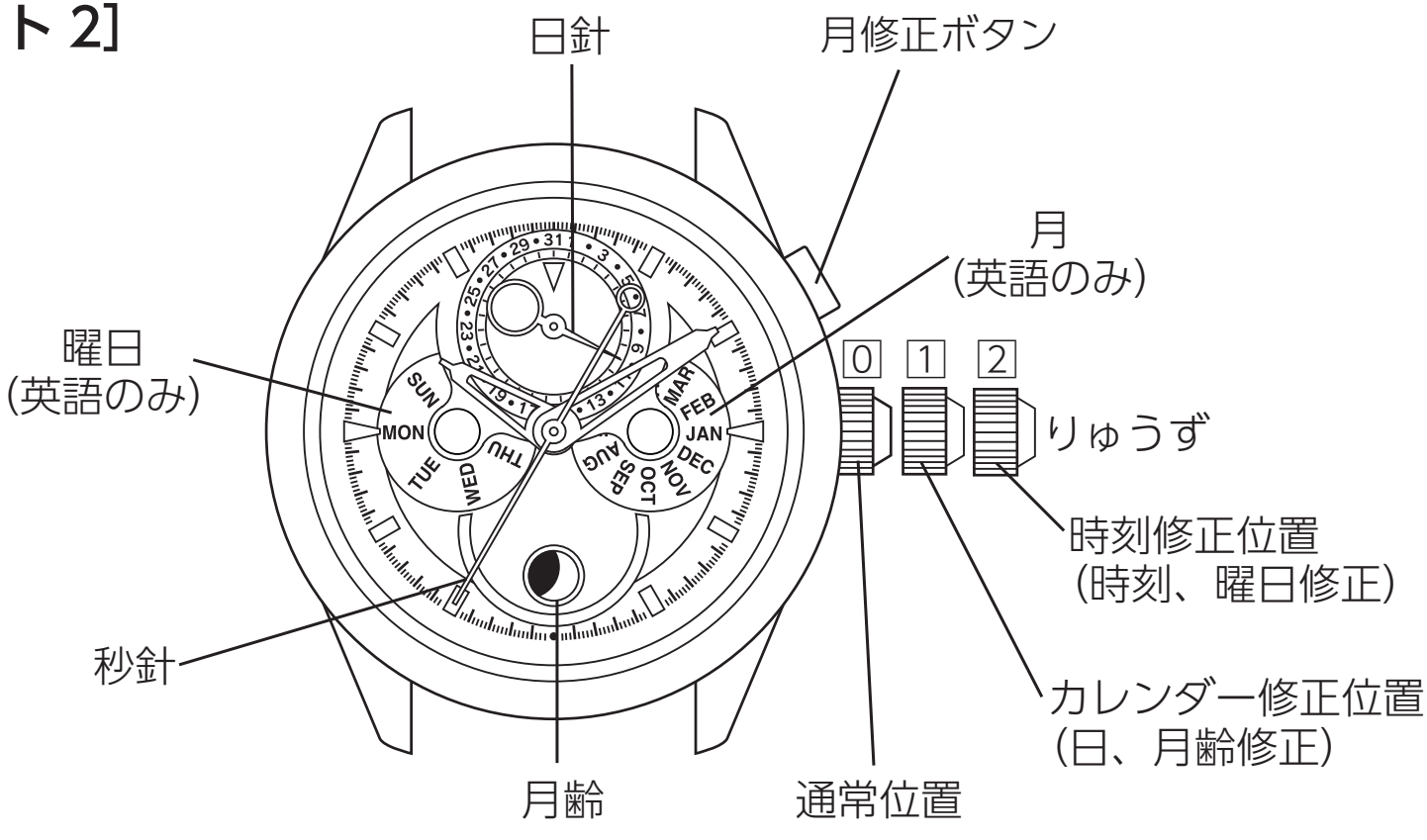
[イラスト 1]



• 隠しプッシュボタンの場合は、先の細いもので押してください。

お買い上げいただいた時計と取扱説明書のイラストは、異なる場合があります。
この説明書はプッシュボタンが２時、りゅうずが３時にあるモデルで取扱方法を説明しています。

[イラスト 2]



この取扱説明書は、イラスト 1 で操作説明をしています。

4. 時刻、カレンダーの合わせ方

時刻とカレンダーを同時に合わせる場合は、『曜日』、『月齢』、『日と月』、『時刻』の順番で行うと便利です。

曜日合わせ
・りゅうず２段引き
・りゅうず右回転
(12 時位置で曜日が切り替わりはじめます。次の曜日に替えるには、時針を２回転させてください)

月齢合わせ
・りゅうず１段引き
・りゅうず右回転

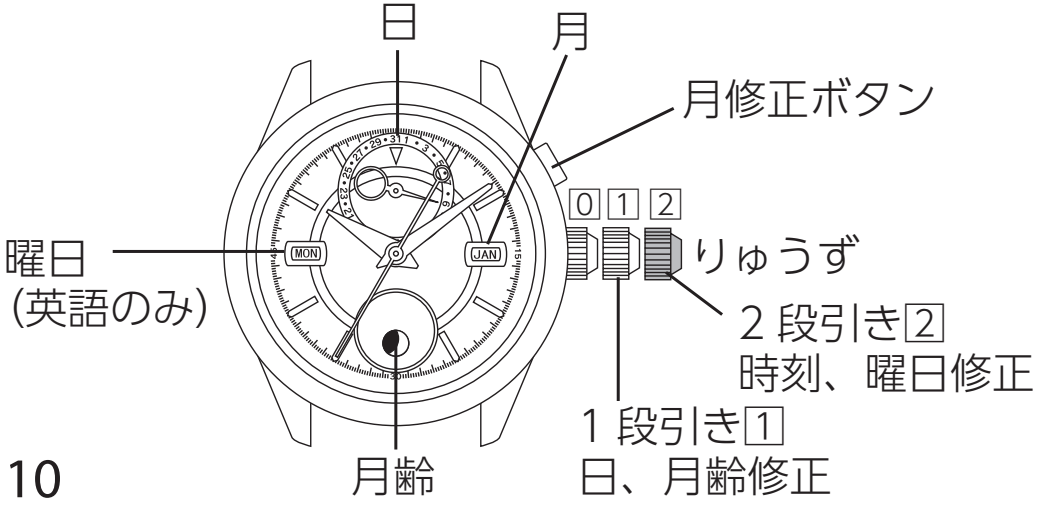
合わせる日を確認してください

合わせる日が３日～ 30 日の場合

合わせる日が 31 日～ 2 日の場合

日合わせ
・りゅうず１段引き
・りゅうず左回転

日を『30』に仮合わせします

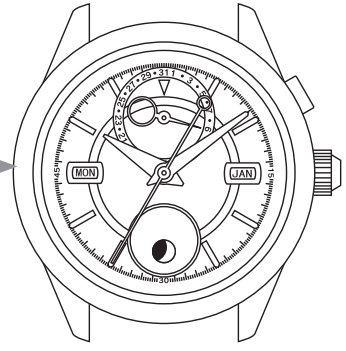


日合わせ
・りゅうず１段引き
・りゅうず左回転

今日の日に
合わせてください

月合わせ
・月修正ボタン
を押す

時刻合わせ
・りゅうず２段引き
・りゅうず右回転で
分針、時針が進み、
左回転でもどります



りゅうずを通常位置
にもどします

月合わせ
・月修正ボタンを
１回押す毎に
切り替わります

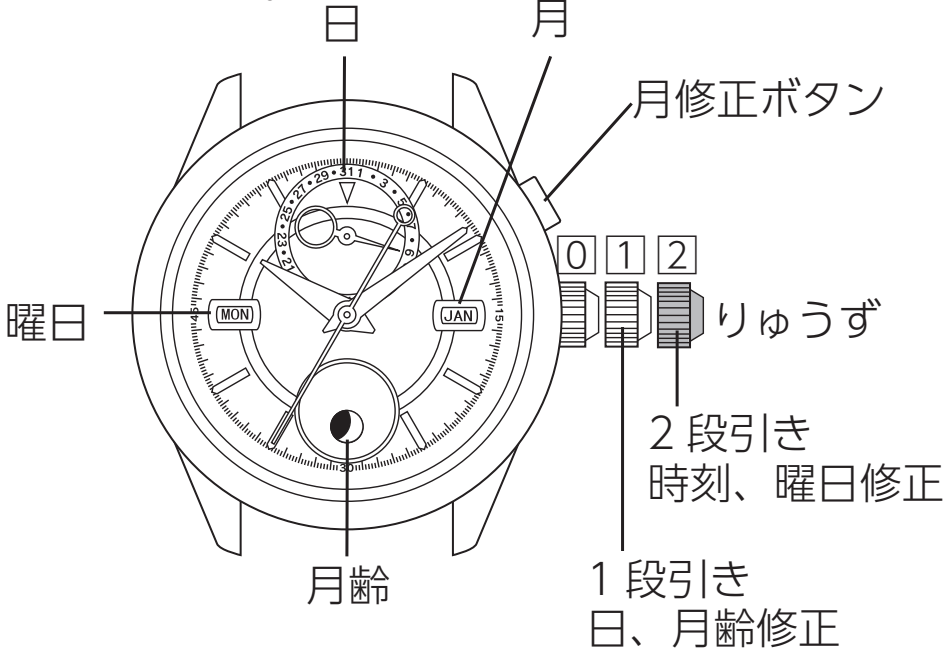
日合わせ
・りゅうず１段引き
・りゅうず左回転

今日の日に
合わせてください

5. 時刻、カレンダーを合わせる手順

〈曜日合わせ〉

1. りゅうずを２段引き(時刻、曜日修正)にします。
2. りゅうずを右回転（時計回り）させて、今日の曜日に合わせます。
・曜日の切り替わりは午前０時頃から替わりはじめ、午前５時頃に完了します。



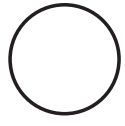
〈月齢合わせ〉

1. りゅうずを１段引き（カレンダー修正位置）にします。
2. りゅうずを右回転（時計回り）させて、今日の月齢に合わせます。

新聞等より当日の月齢を読み取り、『月齢の見方』を参考に合わせてください。

『月齢の見方』

この月齢表示は、月の形そのものを表示したものではありません。
月齢の目安としてご利用ください。

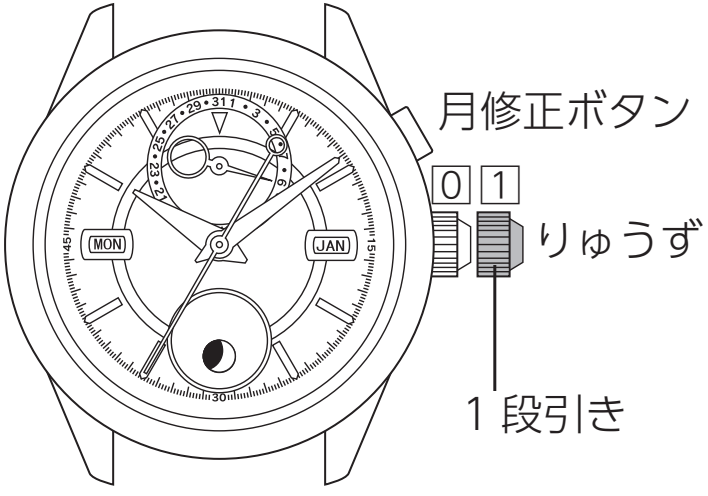
朔 (New moon) 月齢　0（大潮）	上弦 月齢　約 7 (小潮)	満月 (Full moon) 月齢 約 15 (大潮)	下弦 月齢　約 22 (小潮)
			

＊モデルによってタイプが異なる場合があります。

〈月齢をより正確に合わせるには〉

朔／ New moon（月マークがまったく見えない状態…月齢 0）または、
満月／ Full moon（月が真上…月齢 15）のときに合わせると、より正確に
合わせることができます。

〈日と月合わせ〉



1. りゅうずを 1 段引き（カレンダー修正位置）まで引き出します。
2. 日と月を合わせます。
   - りゅうずを左回転させると、日針が右に回転します。
   - 月修正ボタンを押すと、月が切り替わります。

【合わせる日が、3 日～ 30 日の場合】

① りゅうずを左回転させ、日針を『今日の日』に合わせます。
② 月修正ボタンを押して、『月を当月』に合わせます。

【合わせる日が、31 日の場合】

① いったん仮合わせとして『30 日』に合わせてください。
② 月修正ボタンを押して、『月を当月』に合わせます。
③ りゅうずを左に回して正しい『日を 31 日』に合わせてください。

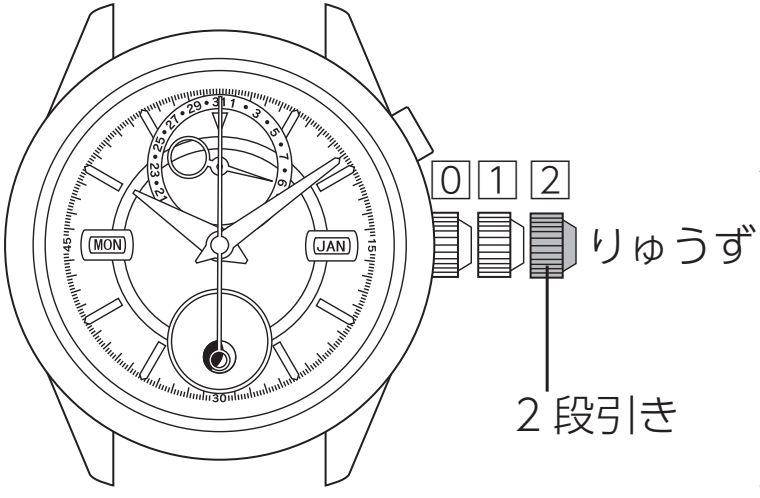
【合わせる日が、１日または２日の場合】

① いったん仮合わせとして『30 日』に合わせてください。
② 月修正ボタンを押して、仮合わせとして『月を合わせたい、1ヵ月前』に合わせます。
例：1 月に合わせたいときは、12 月に合わせる。
3月に合わせたいときは、２月に合わせる。
③ りゅうずを左に回して正しい『日を１日または２日』に合わせてください。
日が 31 日から１日に切り替わると同時に、月が当月に切り替わります。

3. りゅうずを通常位置にもどします。

・仮合わせは、機械の構造上、正しく日を送るため必要です。

〈時刻合わせ〉



1. 秒針が 12 時位置にきたときに、りゅうずを２段引き（時刻修正位置）にします。
2. りゅうずを右回転（時計回り）させて、時刻を合わせます。
   カレンダーの切り替わった時刻を参考にして、午前 / 午後に注意しながら時刻を合わせてください。
3. 時報等に合わせて、りゅうずを通常位置にもどします。

【正確に合わせるポイント】

秒針を 12 時位置に止めておき、時針と分針を合わせる時刻より４～５分進めてから、次に反時計回りに針をもどして現在時刻に合わせると、より正確に合わせることができます。

【注意】

① 時刻が午後９時～午前０時の間を示しているときに、日の修正を行うと翌日になっても日が切り替わらないことがあります。日修正を行う際は、この時間帯を避けて行ってください。

② この時計の日は 31 日周期です。3 月、5 月、7 月、10 月、12 月の月初めには日を修正してください。

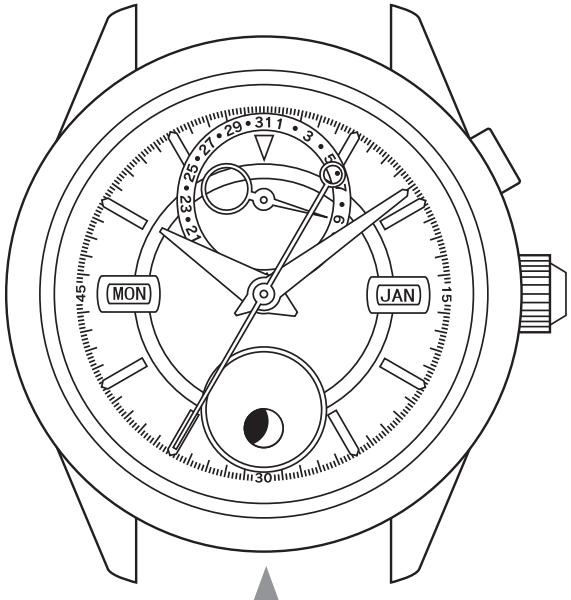
③ 日針が 31 日～２日の間を示しているときは、月の修正を避けてください。この期間に修正を行う場合は、日針を 31 日～２日の範囲外に切り替えてから月の修正を行ってください。その後、日針を合わせたい日にセットし直してください。

6. エコ・ドライブ特有の機能について

この時計は、充電不足になると表示が次のように切り替わります。

【通常表示】

1 秒毎に運針



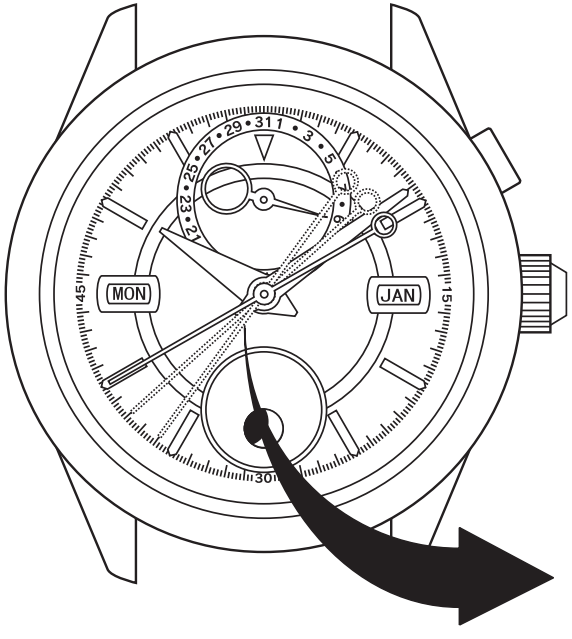
文字板に光が当たらず
充電不足になると

充電していくと

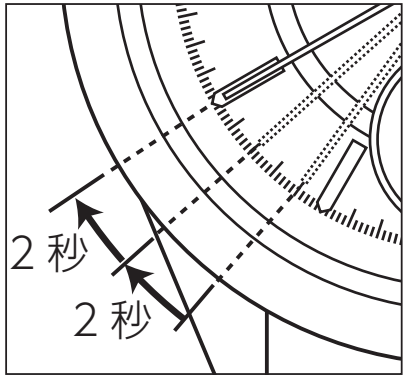
充電不足で時計が止まったため、表示時刻がずれています。正しい時刻に合わせ直してください。

【充電警告表示】

2 秒毎に運針



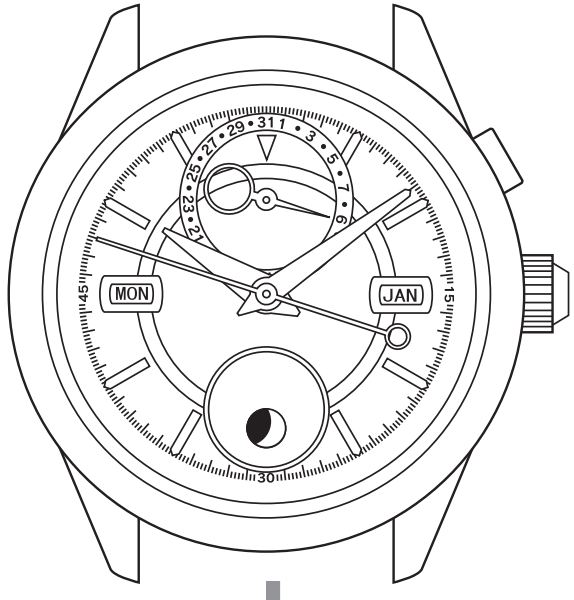
充電されず、二次電池の
容量がなくなると



秒針が 2 秒毎に運針をはじめます

【停止状態】

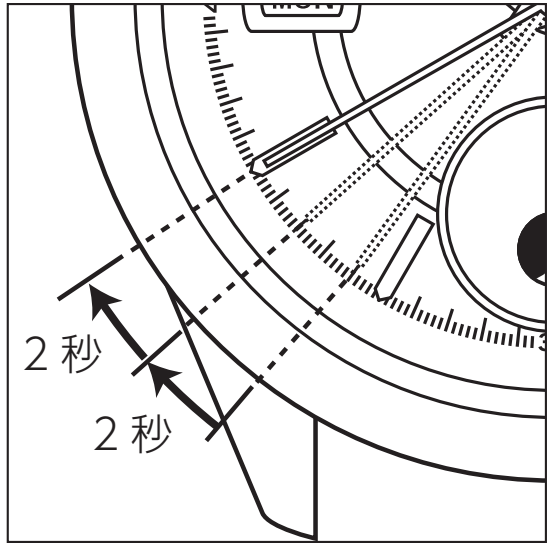
止まり



時計の針が動きはじめるまで、十分に光を当てて充電を行ってください。

〈充電警告機能〉

時計が充電不足になると、秒針が２秒毎の運針をはじめ、充電不足になったことをお知らせします。
この間も時計は正確に動いていますが、充電不足が約３日以上続くと時計は止まってしまいます。光を当てて充電し、もとの１秒運針にもどしてください。安心してご使用いただくために、１秒運針にもどった後も十分充電を行ってください。



充電不足で時計が止まった後、光を当てると時計は動きはじめますが、時間がずれているため十分充電し時刻を合わせ直してください。

〈過充電防止機能〉

どんなに充電しても二次電池や、時間精度、機能、性能などに影響をおよぼす心配はありません。
文字板に光が当たり、充電完了になると、それ以上は充電されないように自動的に過充電防止機能が働きます。

〈クイックスタート〉

充電がまったくされていないと、時計は停止してしまいます。
光を当てると、約 10 秒で時計の針が動きはじめます。(モデルや光の明るさによって、針が動き出すまでの時間は異なります)
ただし、このときに光をさえぎると充電が十分でないため、時計は再び停止してしまいますのでご注意ください。

〈充電時間の目安〉

※連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環　境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間(約)		
		通常に動く状態を1日保つ	時計が停止してから通常に動き出すまで	時計が停止してから充電完了まで
屋外(晴天)	100,000	6分	3時間	19時間
屋外(曇天)	10,000	30分	14時間	90時間
30W蛍光灯の20cm下	3,000	50分	25時間	150時間
屋内照明	500	4時間	130時間	880時間

1 日分の充電時間 … 時計を通常運針で 1 日動かすのに必要な充電時間。

時計が停止してから充電完了まで

… 時計が充電不足で停止している状態から最大に充電されるまでの充電時間。
この時計は一度充電が完了すると、約 6 ヵ月間時刻を刻み続けます。

【注意】充電不足で停止してしまうと、表のように時計が動き出すまでに時間がかかりますので、毎日の充電を心がけてご使用ください。なお、月に一度は直射日光を当てて充電されることをおすすめいたします。

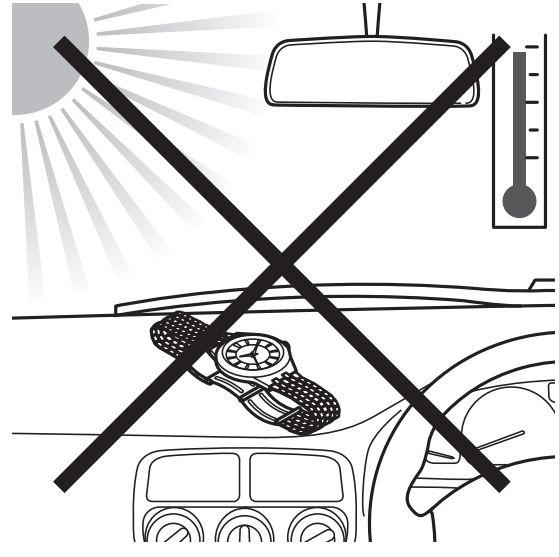
7. エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

■ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。

■ 時計を外したときも、 できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

⚠ 注意　充電上の注意



・充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例）

- 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電

※ 白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。

- 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

・この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。
ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなくなります。定期的な分解掃除（有料）をお奨めします。

⚠ 警告　二次電池の取り扱いについて

・お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。
やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。
万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
・一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

⚠ 警告　指定の二次電池以外は使わないでください

・この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。
他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

8. お取り扱いにあたって

⚠ 警告 防水性能について

- 時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下図を参照して正しくご使用ください。（1 bar は約 1 気圧に相当します）
- WATER RESIST (ANT) xx bar は W.R. xx bar と表示している場合があります。
- 非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- 日常生活用防水時計（3 気圧防水）は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名　称	表　示 文字板または裏ぶた	仕　様
非防水時計	————	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3 気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5 気圧防水
	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水 20 気圧防水

・日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキンダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
・日常生活用強化防水時計（10 ／ 20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例				
水がかかる程度の使用。（洗顔、雨など）	水仕事や一般水泳に使用。	スキンダイビング、マリンスポーツに使用。	空気ボンベを使用するスキューバ潜水に使用。	水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

⚠注意　人への危害を防ぐために

- 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

⚠注意　使用上の注意

- りゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- 水分のついたままりゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

・時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
　○ 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
　○ 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
　○ 入浴するときは時計をはずす。
・時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、りゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

⚠注意　携帯時の注意

＜バンドについて＞

・皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド) は､汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
・皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。（脱色、接着はがれ）また、かぶれの原因にもなります。
・皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
・バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
・ウレタンバンド（ゴムバンド）は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの（衣類、バッグ等）と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取替えください。

・以下の場合は、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
　○ 腐食により、バンドに異常が認められたとき
　○ バンドのピンが飛び出しているとき
・お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、シチズン オーナーズデスクにて承っております。その他のお店では 有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

・極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

・アナログ式クオーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

・クオーツ時計に使われているＩＣは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含有するもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用の前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

⚠注意　時計は常に清潔に

- りゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきりゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド（ゴムバンド）は水で汚れを洗い落としてください。
- 金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。
この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

9. 保証とアフターサービスについて

＜保証について＞

正常なご使用で、保証期間内に万一故障が生じた場合には、保証書に従い、無料修理いたします。

＜修理用部品の保有期間について＞

弊社は時計の機能を維持するための修理用部品を、通常 10 年間を基準に保有しております。ただし、ケース・ガラス・文字板・針・りゅうず・プッシュボタン・バンドなどの外装部品には、外観の異なる代替部品を使用させていただく場合がありますので、予めご了承ください。

＜修理可能期間について＞

弊社の修理用部品の保有期間中は修理が可能です。ただし、ご使用の状態・環境でこの期間は著しく異なります。修理の可否については、現品ご持参の上販売店でご相談ください。なお、長期間のご使用による精度の劣化は、修理によっても初期精度の復元が困難な場合があります。

＜ご転居・ご贈答品の場合＞

保証期間中にご転居されたり、ご贈答品のためにご使用の時計がお買い上げ店のアフターサービスを受けられない場合には、弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

＜定期点検（有償）について＞

- 防水性能について

  防水時計の防水性能は経年劣化しますので、安全に永くご使用いただくために２～３年に一度防水検査を行なっていただくことをお勧めします。防水性能を維持するためには、部品の交換が必要ですので、パッキングなどの交換をご依頼ください。

- 分解掃除（内装修理）について

  腕時計を永くご愛用いただくには分解掃除（内装修理）が必要です。歯車などの部品は永くご使用いただくことにより磨耗してしまいますが、これを抑えるために潤滑油を使用しております。しかし経年劣化により潤滑油の汚れなどで部品の磨耗が進み、故障に至ることがあります。目安として５年に一度の分解掃除のご依頼をお勧めします。

＜修理について＞

時計の品質を維持するために、この時計はバンドを除く全ての修理は「メーカー修理」となります。これは、修理、点検、調整等に特殊技術、設備を必要とするためです。修理等の際は弊社お問い合わせ窓口へご依頼ください。

＜その他お問い合わせについて＞

保証や修理、その他不明な点がございましたら、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。

10. 製品仕様

機　　種：8730
型　　式：アナログソーラーパワーウオッチ
時 間 精 度：平均月差 ±15 秒
常温（+ 5 ℃～+ 35 ℃）携帯時
作動温度範囲：− 10℃～+ 60℃
表 示 機 能：時　刻　　：時、分、秒
カレンダー：・曜日、月、針による日表示
・月齢表示
付 加 機 能：・充電警告機能（2 秒運針）
・過充電防止機能
・クイックスタート
・秒針停止機能
・カレンダー早修正機能

持続時間：充電完了後、充電しないで時計が停止するまで約６ヵ月
充電警告表示～充電不足で時計が停止するまで約３日
使用電池：二次電池（ボタン型リチウム電池）１個

※製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。